

商店建築

SHOTEN KENCHIKU

8

特集：ライト感覚なブティック&雑貨

特集：アジアでデザインする

新作：クリスタ長堀





撮影/平井広行

ファサード

リサイクル材料を使ったブティック ルシエルブルー 大阪

大阪府大阪市中央区南船場3丁目 長堀地下街4号

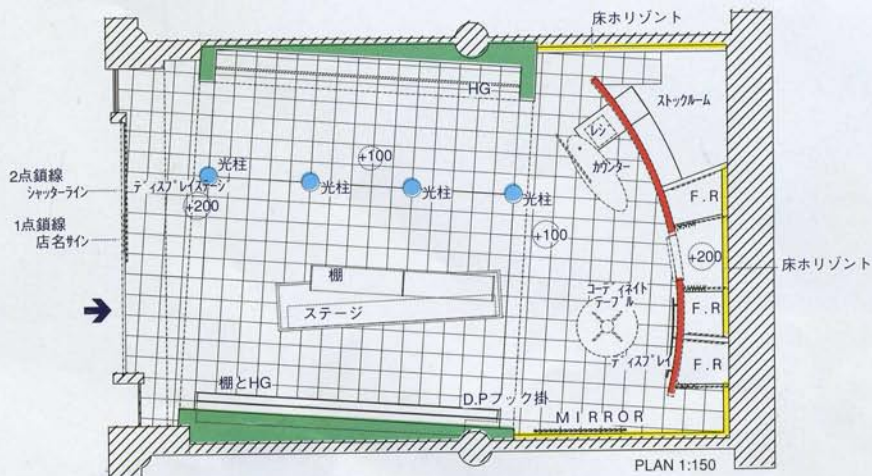
設計/大塚ノリユキデザイン事務所 大塚則幸 施工/長谷川
協力/照明計画 ウシオスペース 山口晋司 光柱製作 創美芸 宣原永秀

Boutique LE CIEL BLUE, Osaka Designer Noriyuki Otsuka

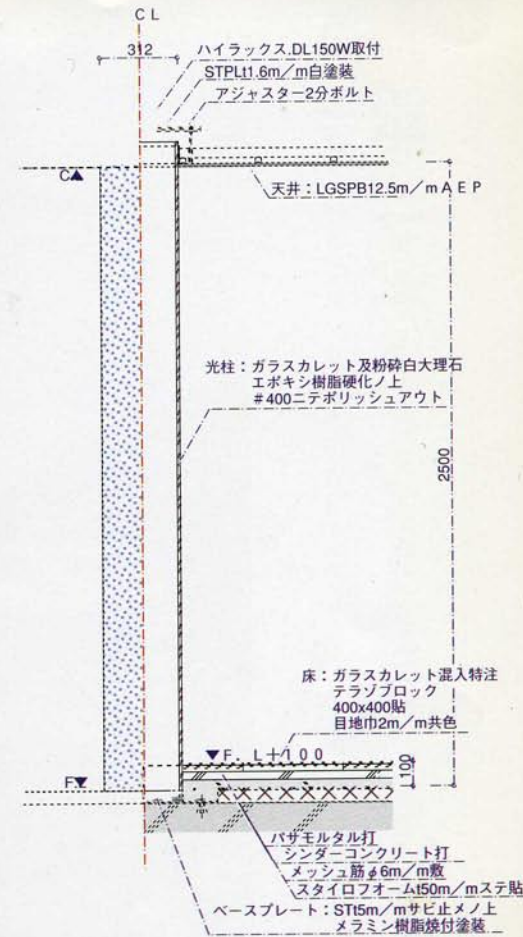
デザインマチュールへと進化する再生ガラス
4月より容器包装リサイクル法が施行された。消費者、自治体、事業者の三者協力によりペットボトルやガラス瓶のごみの減量、リサイクルを推進する。以前からガラスは原料の性質上リサイクル製品が多く商品化されている。ガラス瓶においては色による種別分け(牛乳瓶は透明、一升瓶は茶色、スプライトは緑色など)で選別、粉碎した製品はカレットと呼ばれ、道路などアスファルトの骨材として使用される。用途上、下地混入が前提のため飲料メーカーのラベルなどの不純物が混在し見るからに再処理製品の感だ。一方、同法施行により仕上げ材にも使用できる不純物の一切入っていない良質のカレットがヤブ原より販売された。今回このカレットを使用して光柱と床材を製作した。光柱はカレットと粉碎白大理石をエポキシ樹脂で硬化させ中空状に成型。これは東大阪の創美芸に製作を依頼した。製造技術はここだけのノウハウである。床材は特注テラゾで定評ある、東京は大田区の東洋テラゾ工業だ。現在リサイクル

製品は価格が高く粗悪というイメージが付きまとう。使用したカレットは岩手県水沢の再処理工場で作られている。選別、ラベルなどの洗浄は一本一本、人の手で行われており、手を介した分、決して安価な製品ではないが、良質の製品ならばデザインのマチュールとしてのイメージの出発点となる。後はモノを創り出す工房、工場があれば新しい価値観の商品が生まれる。必要なことは“環境にやさしい”などの気恥ずかしくなるような標語

ではなく、美しくかつデザイン的に完成した製品であるということだ。光柱は内照された放電灯の青白い光に照らされ深みと奥行きのある輝きを放ち、回り込む光は床材に混入したカレットとシンクロシ砂浜に埋もれたガラスのように鋭利に光り輝く。今後リサイクル製品はデザインの可能性を広げてくれるであろう。後は理解を示すオーナーの存在が大きい。
(大塚則幸)



フロア中央の仕器越しにステージ側を見る



入り口右手の壁面仕器

「ルシエルブルー 大阪」データ
工事種別: 内装のみ 新築
床面積: 96.4㎡
工期: 1997年3月27日~4月22日
営業内容
開店: 1997年5月21日
営業時間: 午前11時~午後8時 定休日: 第2水曜日
電話: (06)282-2133
経営者: 株式会社ルシエルブルー
従業員数: 3人 パート・アルバイト7人 合計10人
客単価: 2万円
主な取り扱い商品と単価: スーツ2万5000~8万 ワンピース1万5000~4万 ニット7900~ スカート9800~ パンツ9800~ 小物(すべてインポート)バッグ2万~ 靴2万~ サングラス2万~
主な仕上げ材料
床: 砂セメント下地ガラスカレット混入特注テラゾブロック貼り400角(テラゾブロック/東洋テラゾ工業) ディスプレイステージ/スタイロフォームt50×2の上砂セメント下地ガラスカレット混入特注テラゾブロック貼り400角
壁: 軽鉄組みPbt 12.5下地寒冷紗パテシゴキAEP R壁/ガラスカレット混入薄塗りセメント金ゴテ押さえの上かき落とし(モノラル/ヤブ原)
天井: 軽鉄組みPbt 12.5下地寒冷紗パテシゴキAEP
光柱: ガラスカレットおよび粉碎白大理石混入エポキシ樹脂硬化の上ポリッシュ仕上げ
仕器: センターステージ仕器/鉄骨組みガラスカレット混入特注テラゾブロック貼り850×600 一部木下地ラッカー系塗装パールホワイト仕上げ



ガラスカレットの光柱越しにステージのディスプレイを見る